

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2018

No. **15**



▲山口小学校 消防教室

平成30年 災害状況



1月20日現在

- ・火災… 0件
- ・救急… 170件
- ・救助… 4件

主な内容

特集 密集地火災防ぎょ訓練を実施しました …… 2・3

- ◆ 一日消防官
消防ふれあい祭り …… 4
- ◆ 平成30年 消防出初式
秋の火災予防運動合同訓練・
防火基準適合表示マーク「金」の交付 …… 5
- ◆ 消防写真館
消防白書・火災調査レポート …… 6・7
- ◆ お知らせ …… 8

住宅用火災警報器が大切な「命」「財産」を守ります!

- 寝室(子供部屋含)や寝室が2階以上にある場合は階段に必ず取り付けましょう。
- 設置しておよそ10年が交換の目安です。



密集地火災防ぎょ訓練を実施



平成29年11月12日(日)に養父市広谷地区で住宅密集地火災防ぎょ訓練を実施し、地区住民を含む総勢約460人が参加しました。

この訓練は、住宅が立ち並び養父市広谷地区内の店舗から出火し、折りからの強風により延焼拡大の危険性が極めて高いとの想定で実施。住民の火災通報から始まり、広谷地区自主防災組織による消火栓を使用したの初期消火、防災無線を活用しての避難指示放送、更に各関係機関が連携し、避難所まで避難経路を確保しながら住民の誘導を行いました。

同時に、養父市消防団と消防本部による遠距離中継送水を行い、延焼阻止線や飛火警戒を含めた計14線の筒先を火点である広谷小学校グラウンドに集結させ、一斉放水を実施しました。最長で600mの中継送水を行う分団もあり、総延長2,750mもの遠距離中継送水による消防水利の確保を実現することができました。

一斉放水終了後には、女性消防団員による消火栓を使用した水出し操作や避難場所の小学校体育館で地区住民を対象に、AEDを使用した救命講習を実施しました。

訓練終了後、市長、消防団長、警察署長のあいさつに続き、

「住宅密集地 警防計画」の策定

消防本部では、今回の訓練に先立ち、平成27年1月、隣接する豊岡市の城崎温泉街で発生した火災を教訓に、管轄区域における市街地構造を分析し、住宅が密集した地域の中で大規模な火災につながる危険性の高い地域を確認、絞り込みを行い、該当した地域を住宅密集地火災危険区域として指定し、火災が発生した場合、迅速かつ適切な対応をするために「住宅密集地警防計画」を策定しました。

また、筒先配備体制や消防ポンプ自動車の必要台数、消



訓練の目的は、策定した警防計画が機能するかどうかを検証すること。そして、地域住民に大規模火災が発生した場合の対応を含めた防火意識の高揚を図ること。更には消防団他、関係機関との連携強化に繋げることでした。訓練当日は、広谷地区住民のご理解とご協力で約260人も多くの方に参加いただき、より実践的な訓練となりました。

また、朝来市生野町口銀谷地内においても住宅密集地火災防ぎよ訓練を計画しています。今後も引き続き住民や関係機関との更なる連携を図り、災害対応に万全を期したいと考えています。

訓練の目的

防水利の確保など、最大限の消火力を発揮するためには消防団との連携が必要不可欠であることから、消防団における火災防ぎよ体制も併せて作成しました。



▲消防団による遠距離中継送水



▲住民の避難の様子



▲はしご車及び放水銃を使用しての一斉放水▲



▲7機関 総勢約460人が集結



▲救急講習の様子

秋の火災予防運動 (11/9 ~ 11/15)

一日消防官による防火よびかけ

◆火災予防運動期間前の11月8日に、養父・朝来両市の女性消防団員4人に「一日消防官」をお願いしました。



▲4人の消防官とキャラクターたち

消防官をお願いしたのは、養父市及び朝来市の女性消防団員4名(写真右から福田桂子さん、笠間真由美さん、大畑架奈さん、岡本侑世さん)です。両市のキャラクター、やっぴー(養父市)・ちゃすりん(朝来市)もかけつけ、一緒に防火を訴えました。



▲日光こども園のみなさん

その後、日光こども園と大蔵こども園に別かれて訪問し、園児たちに防火・防災に関する〇×クイズを行いました。

〇×クイズでは、園児たちはクイズに正解すると歓声をあげるなど楽しみながら火の用心を訴えることができました。また、両市のキャラクターと広報物品を一人ひとりに手渡し火災予防をアピールしました。



▲防火クイズの様子(大蔵こども園)

終了後、4人の皆さんに感想を伺うと「園児たちとふれあいながらクイズを行うことができ、とても楽しかったです。女性消防団員にとって広報活動は、消防団活動の大きな柱の一つと言えます。独り暮らし高齢者の防火訪問をはじめ女性ならではの活動ができる体制作りが必要だと思います。」と述べられています。

女性消防団員によるソフトな口調による〇×クイズの話題は、園児たちの興味を引くことができ、楽しさの中に火の怖さを印象づけることができました。

消防ふれあい祭り

11月19日(日)、養父市Yタウンで「消防ふれあい祭り」を開催しました。

あいにくの天候の中での開催となりましたが、今年も多くの方が来場され、はしご車への乗車や自動体外式除細動器(AED)の体験コーナー、水消火器を使用した消火訓練を体験されました。

住宅用火災警報器等の防災グッズや消防車・救急車の展示では多くの方が写真を撮っておられ、風船やハンカチ等の広報物品の配布も好評で盛



▲消防車両展示の様子



▲はしご車乗車体験の様子

大に賑わいました。

はしご車での乗車体験では、乗車前は緊張した面持ちの子供たちも、乗車後には笑顔が溢れて、「全然怖くない!」すごく楽しかった。またはしご車に乗りたいたい!と嬉しい声も聞こえてきました。

回を重ねるごとに来場者も多くなっている消防ふれあい祭りですが、この体験を通してたくさんの方々には防火・防災の知識に興味をもっていただければと願っています。

平成30年
消防出初式



▲童和こども園園児による演技

快晴に恵まれた1月12日、多数の来賓を迎え、南但消防本部「消防出初式」を開催しました。式典では南但広域行政事務組合多次管理者の式辞に続き、笹谷消防長が訓示を述べ、安全・安心な南但をめざし、職員が一丸となることを誓いました。



▲一斉放水訓練

屋外訓練場では、消防車両7台、職員30人による部隊観閲を行った後、童和こども園幼年消防クラブの園児による防火演技が行われました。園児達が力強い元気な声で防火を誓うと、会場は盛大な拍手に包まれました。



▲救急救助訓練

最後に晴天の上空に向け9線の一斉放水を行い、消防出初式を締めくくりました。

引き続き救急救助訓練では、地震災害を想定し、救助隊員らがロープ等の救助機材やはしご車を使用し、倒壊した5階建ての建物から要救助者を救出、救急隊に引き継ぎました。

秋の火災予防運動合同訓練



▲和田山支団女性消防団員

秋の火災予防運動の一環として、11月5日の早朝には、緑風の郷(朝来市山東町一品区)周辺で、また、9日の夜間には、高田健康広場(朝来市和田山町高田区)周辺で、消防本部・消防団・地域住民が一体となり、合同訓練を行いました。

それぞれ毎年恒例の訓練ではありますが、実災害を想定した長距離送水の要領や情報の伝達要領を確認し合いました。



▲養父方面隊女性消防団員

更に12日には、養父市広谷地区で、南但消防本部として初めて住宅密集地火災防ぎよ訓練を行い、養父市消防団養父方面隊を中心に、関係機関との連携強化と、地域住民の防火意識の高揚を図りました。

このように継続して訓練を行うことが、有事の際の対応にいかされてきます。

今年の訓練では、両市の女性消防団員の方々の勇士がひとときわ際立った印象を受けました。

これからも、関係機関との連携を密にして、市民の皆様の安全・安心に努めてまいります。

防火基準適合表示マーク
「金」の交付

12月1日、南但消防本部で防火基準適合表示マークの交付式が行われ、いずみ旅館に「金」の表示マークが交付されました。

防火基準適合表示マークは、ホテル・旅館からの申請に基づき消防法と建築基準法の基準に適合していると認められた場合に交付され、「銀」の交付後3年継続して基準に適合している場合に「金」が交付されます。南但消防本部管内で「金」を交付した施設は初めてのことです。

いずみ旅館の木村敏彦さんは「お客さんの安全・安心を常に考え、「金」の表示マークに恥じないよう従業員とともに努めていきたい。」と話されました。



▲「金」の表示マークを手にする木村さん(左)

消防写真館



避難訓練 (11月1日 立雲の郷)

施設内で火災が起きた事を想定して避難訓練が行われました。職員の皆さんが協力され、利用者一人一人を確実に避難誘導されました。



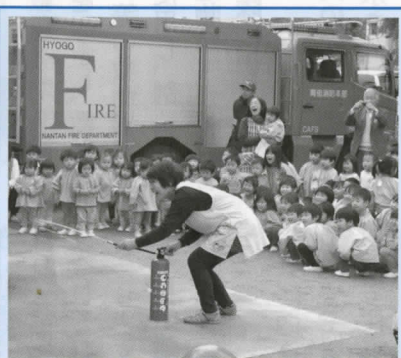
消防訓練 (10月26日 うどん但州庵)

開店前に消火器取扱い訓練が行われました。皆さん消火器に関する質問をされる等、操作方法について熱心に学ばれました。



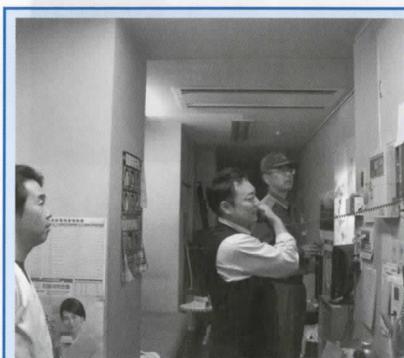
消防訓練 (11月21日 生野小学校)

実際の炎に対し、粉末消火器で消火する訓練が行われました。皆さん、素早く消火し、大変頼もしい表情をしていました。



消防訓練 (11月20日 日光こども園)

先生が消火器取扱い訓練を行いました。見学した園児の皆さんは消火器に興味津々で、大きな歓声をあげていました。



通報訓練 (11月7日 和田山ホテル)

火災通報装置を使用し、通報訓練が行われました。皆さん、落ち着いて消防車の要請をされていました。

救急

※総件数は増加、
搬送人員は減少

救急件数は3,144件、搬送人員は2,854人で、前年と比較すると21件増加しましたが、搬送人員は34人減少しています。

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		20 (29)	10 (19)	10 (10)
建物		14	6	8
林野		1	1	0
車両		1	1	0
その他		4	2	2

()内は前年件数

火災

※総件数は減少、
建物火災は増加

火災件数は両市合わせて20件で、前年と比較すると9件減少しましたが、建物火災は5件増加し、14件となっています。

消防白書

平成29年
1月～12月

救助

※総数、救助活動件数
ともに増加

救助件数は67件で、8件増加しています。その内44人を救助しています。

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		67 (59)	32 (30)	34 (29)	1 (0)
交通事故		36	16	19	1
機械		0	0	0	0
水難		6	5	1	0
その他		25	11	14	0

()内は前年件数

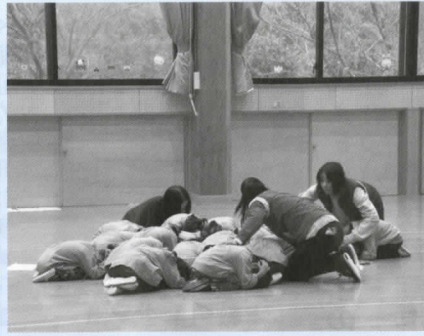
種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		3,144 (3,123)	1,615 (1,590)	1,525 (1,530)	4 (3)
急病		1,833	997	836	0
交通事故		217	135	79	3
一般負傷		544	262	281	1
その他		550	221	329	0

()内は前年件数



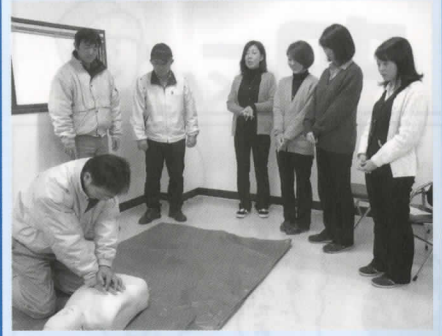
社会見学 (11月24日 朝来消防署)

建屋小学校の皆さんが来庁され、消防の仕事について学ばれました。実際に救急車のベッドに寝る体験では、立候補者続出でした。



避難訓練 (11月29日 竹田こども園)

地震を想定した避難訓練が行われました。地震発生後、園児たちは先生の指示をよく聞いて、低い姿勢になって頭を守っていました。



救急教室 (12月6日 シルバー生野)

いざという時に備えて、心肺蘇生法の講習を受けられました。皆さん、全体重を乗せて胸の中心を的確に押されていました。



避難訓練 (12月8日 はちぶせの郷)

避難訓練が行われ、職員の適切な誘導で安全な場所に無事避難されました。皆さん、火事になれば大変だと真剣な表情でした。



消防教室 (12月10日 末歳区)

火災になった場合、素早く消火できるように消火栓を使用した放水訓練が行われました。子供連れの女性も参加され、操作方法を学ばれました。



特別査察 (12月14日 イオン和山ショッピングセンター)

年末に利用客が多くなる商業施設を対象に特別査察を行いました。防火管理と避難管理の徹底を指導しました。

寒い冬に使用する暖房器具の代表といえば「こたつ」ではないでしょうか。こたつはストーブなどに比べて比較的安全な暖房器具ですが、それでも使用方法を誤ると、火災を発生させてしまうことがあります。

・こたつで洗濯物を乾かすのは非常に危険

冬は洗濯物を乾かすのに非常に時間がかかるため、ついついこたつの中に入れて乾かしてしまう事があります。こたつのヒーターの温度は体感温度より高く、衣類が接触すると発火する場合があります。

また、こたつ布団がヒーターに接触して火災となつた事例もありますので注意が必要です。こたつの中に衣類、布団など入れないようにしましょう。

・こたつのコードに注意

こたつのコードを引っ張ったり踏んだりすることでコードが接触不良を起こ



し発火する場合があります。一番多いのはこたつの机の足がコードを踏んでいるケースです。こたつを動かしたあとはコードを踏んでいないか確認しましょう。また、コードが傷ついたり、古くなつていないか定期的に確認しましょう。

もうすぐ春の足音が聞こえてきそうですが、まだまだ寒い日が続きます。この機会にこたつの使用方法の確認、再点検を試してみたいかがでしょうか。

火災調査レポート
こたつによる火災に注意！

お知らせ

INFORMATION

◆高規格 救急自動車更新

本年1月19日に朝来署配置の救急車1台が更新されました。近年、救急出動件数の増加に伴い車両の消耗も激しくなってきましたが、出動に万全を期すべく適正な管理に努めてまいります。



▲最新鋭の救急車を配備

◆管内AED設置場所の公表について

緊急時にAED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生が行われることにより管内の救命率向上を図る目的で、当本部ではホームページ上で朝来市内AED設置施設の公表を行っています(養父市は市役所が所管)。

◆全国消防職員 剣道大会結果

平成29年12月5日に行われた第6回全国消防職員剣道大会で、朝来消防署第一部の丸山消防士(剣道4段)が、女子個人の部第3位となりました。



公表には保有施設からの情報提供書が必要となります。趣旨に、賛同いただき公表に協力いただける方は、手続き等の説明をいたしますので、南但消防本部消防課救急係までご連絡をいただきますようお願いいたします。



▲丸山消防士

本大会は、2年に1度開催され、試合は5人制団体戦(72チーム)予選リーグ+決勝トーナメント、女子個人戦の2部門が行われています。女子個人の部では、1組4名の総当たり戦を1位で通過し、各組1位の4名による決勝リーグ戦に進み、第3位の好成績を収めました。

◆春の火災予防運動

3月1日から3月7日までの一週間、全国一斉に春の火災予防運動が展開されます。朝来消防署、養父消防署ともに火災ゼロに向け、万全の態勢で臨みます。

火の用心 ことばを形に 習慣に

3月1日~3月7日

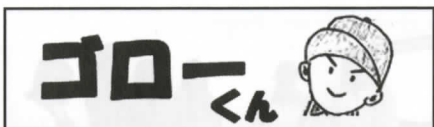
主な行事予定

- 消防訓練 市内の病院・福祉施設の査察
- 防火査察 学校・事業所・各地区
- 消防教室 防火ポスターの配布
- 広報活動 市内の病院・福祉施設
- 防火研修



◆山火事防止運動

消防署並びに消防団では、4月の一カ月間、山火事防止運動を展開します。



NANTAN 119だより

NANTAN 119だより第15号

2018年2月1日発行 (年3回発行)

■発行・編集

南但消防本部予防課
兵庫県朝来市
和田山町枚田436-1

■ TEL 079-672-0119

■ FAX 079-672-5046

南但消防本部

編集手帳

平成28年12月22日午前に発生した糸魚川市の火災は、147棟、約40,000㎡を焼損、17名が負傷する大火となり、改めて密集地火災の恐ろしさを実感させられました。

身近でもその前年、年明け早々の1月3日早朝に発生した城崎温泉街の火災では12棟、約2,200㎡を焼損し、1名が負傷、2名の尊い人命が失われました。

この城崎温泉街の火災を教訓に、管内の密集地(養父市内5ヶ所、朝来市内5ヶ所)の火災防ぎよ計画を作成しました。

昨年11月12日に密集地の一つである、養父市広谷で地元の皆様をはじめ関係機関の全面的な協力を頂き訓練を実施しました。また、今年の2月25日には朝来市内で同様の訓練が予定されています。

有事の際に最善の対応ができること、また、この地域から絶対に火災を出さない!という意識を高めていただくこと、こうしたことを目標に訓練を重ねていけたらと考えます。

如月(きさらぎ)とは着更着、重ね着せすにいられないからとも言われ、1年で最寒の時期です。休養栄養をしっかりと摂って元気に乗り切りたいものです。